



キッズだより



令和7年12月 第45号
たかといちどいキッズ

♪ ゆきがふってきた チャチャチャ
そとはまっしろけ チャチャチャ
ゆきだるまをつくったら
だるまがおどりだす チャチャチャ ♪



あっという間に冬がやってきました。秋は知らない間に通り過ぎて行ったようです。子どもたちは、寒さに負けず戸外や室内で体いっぱい動かして遊んでいます。散歩に出かけると、「さむ〜い」と言っているのに、歩いていると「ほかほかしてきた」とうっすら汗をかいている子もいます。まだまだ体温調節機能の発達途中なので、ダウンや裏起毛など熱のこもりやすい服を着ていると、汗をかきすぎてかえって体調を崩したり調節機能が鈍ったりします。保育園ではよく体を動かしています。子どもの成長に合う服装を準備していただくと助かります。

上記の『雪だるまのチャチャチャ』の歌は、子どもたちの大好きな歌です。「チャチャチャ」を大きな声で歌うのが楽しいようです。0歳児も小さな声で「チャチャチャ」と歌っています。

12月は、子どもたちが待ちに待っているクリスマスです。大人もイルミネーションや雰囲気我心弾ませる季節ですね。「クリスマスってなあに？」と子どもに聞くと「サンタクロース！」と答えていました。本当は違いますが、子どもにとってクリスマスはサンタさんがプレゼントを持ってくる人になってしまっています。大人が「良い子にしていたらサンタさんが来るよ」と言っていないですか？良い子とは？具体的に伝えてあげてください。子どもは、漠然と『良い子って？』と思っているかもしれません。クリスマスの本当の意味を伝えるのは、少し難しいかもしれませんが、サンタクロースはなぜやってくるのか話してみるのもいい機会だと思います。

保育園では、アドベントカレンダーを一日ずつめくり、クリスマスの飾りを作り、歌を歌うなどして、うれしいクリスマスが迎えられるように過ごします。

北坂 美知子

12月の予定



誕生会	3日(水)	避難訓練	10日(水)
わくわく発表会・懇談会	(にじ組)		13日(土)
発育測定	17日(水)	救急訓練	19日(金)
クリスマス会	23日(火)		





あやひ・ひがにゅみ



ぽっとん落としに興味をもち遊ぶ中で、“つまむ”ことができるようになってきました。そこで、ペットボトルに穴をあけ、その中にストローを入れるぽっとん落としを用意しました。初めはペットボトルが転がり、なかなか穴に入らず苦戦していましたが、見守っていると諦めず集中して、片手で押さえながら入れていました。子どもたちなりに「どうやったら入れられるのか」を考えているのだと思い感心しました。今後も一人ひとりの興味や発達に合わせた遊びを用意し、満足して楽しめるよう見守ったり、認めたりしていきます。

よく食べるようになり、給食の時間を楽しみにしている子どもたち。食材に興味をもち、友だちや保育士と一緒に食べる楽しさを感じられるよう丁寧に関わっていきます。



はいるかな～



はいれ～、ぎゅ～



ひがにゅみ



4月から、頭をなでたり手を握ったりして、安心して眠れるようにしてきました。新しい環境の中、なかなか眠れなかったり、20分ぐらいで目覚めたりすることもありました。今では、眠くなると「ねんねする」と言って自分の布団に寝転んだり、目をこすったりして知らせています。背中をさすったり、優しく体に触れたりすると気持ち良さそうに眠っています。今後も一人ひとりの睡眠リズムに合わせて誘いかけ、見守ったり、子守唄を歌ったりすることで一定時間ぐっすり眠れるようにしていきます。

手作りのマラカスや鈴を鳴らすことを喜んでいます。今月は様々な楽器に触れ、いろんな曲に合わせて楽しめるようにしていきます。



ねむろうね



すやすや



ひがにゅみ



先月は公園でたくさん遊びました。鷹取駅北公園では、どんぐりや赤や黄色の落ち葉に興味をもち、「ちいさいどんぐりあったよ」「あか！はっぱ！」と見つけることを喜んでいました。妙法寺川左岸公園では、滑り台や汽車の遊具で繰り返し遊ぶことを楽しんでいます。以前は、ロープ状のスロープを渡ることを怖がっていましたが、励ましたり傍につき支えたりすることで、少しずつ一人で渡れるようになり嬉しそうにしています。今後も自然に触れたり固定遊具で遊んだりする機会をつくります。

衣服の着脱を自分でしようとする姿がふえてきました。「頭を入れてね」「手はいるかな？」など声をかけながら援助をし、着脱の仕方を伝えていきます。



みて！どんぐりだよ





じゅんみ



衣服の着脱を自分でしようとするが増えてきた子どもたち。先月は自分で畳めるよう、衣服を広げて丁寧に仕方を伝えました。「畳めるかな」と声をかけ見守っていると、「はんぶんにおって」「ぺったん」と言って自分なりに畳み、「できた」と嬉しそうに知らせていました。慣れてくると、雑に畳んでしまうこともありますが、意欲的な姿を認めながら、一緒に行い丁寧に衣服を畳めるようにしていきます。また、衣服が裏返しになっていることもあるので、裏返しにならない脱ぎ方や表返しの方法も知らせていきます。

今月は、椅子取りゲームやだるまさんがころんだなどの簡単なルールのある遊びをする中で、ルールを守って遊ぶ楽しさが感じられるように関わっていきます。



《 あれから2年 》

2年前の12月に「趣味は必要なのか？」という特集記事を書きました。あれからも趣味と言えるほどのことが見つからないまま、月日は流れ現在に至っています。和太鼓や水泳に興味はあるものの何も動きもしないままでした。先日、公立・私立の保育園の親睦行事があり、『和太鼓 蓮』の公演に行きました。「よっ！」という掛け声から始まり、「ドン！！」という音に「ビクッ！」となりつつも、太鼓の音が鳴り始めた瞬間、体が揺れいつの間にかリズムをとっていた私がいました。低音から高音まで音の幅も広く、曲も大漁を祝うものだったり民謡だったり、様々な曲調で心がわくわくしました。演奏の合間に、太鼓の種類や名前を教えてもらったのですが、ますます興味がわき、帰宅後、太鼓の種類を改めて調べてみました。胴（太鼓の本体）が長く、音が共鳴し遠くまで音が鳴り響く長胴太鼓。その強度を生かし、力強い打ち込みを見せるパフォーマンス用としても使われています。桶のように板を貼り合わせて胴を作る桶胴太鼓。長胴太鼓と比べて重量が軽いのが特徴で、紐をつけ、肩に担いで演奏するのが特徴です。その他にも、平胴太鼓、締太鼓などたくさんあるのですが、桶胴太鼓を担いで手を交差させて叩いている姿は、食い入ってしまうほど格好良かったです！と言っても、それをマスターするにはそれなりの月日がいるのでしょうか……。いつ見ても、和太鼓は良いなと思いました。いつか、いつかやってみたいと思います。きっと始める時には、長胴太鼓からのスタートになると思います。いつの日か、「なんとついに始めました。」とお話が出来たらいいなと思っています。

中村 仁子

